



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

コード番号 9044 URL <http://www.nankai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 亘 信二

問合せ先責任者 (役職名) 経理室経理部長

(氏名) 田内 信彦

TEL 06-6644-7145

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	97,682	9.6	12,992	3.7	9,760	5.8	6,102	15.2
25年3月期第2四半期	89,087	△0.4	12,532	18.7	9,226	36.3	5,296	46.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,328百万円 (83.2%) 25年3月期第2四半期 4,000百万円 (77.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.68	—
25年3月期第2四半期	10.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	776,983	147,865	18.7
25年3月期	781,589	143,176	18.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 145,033百万円 25年3月期 140,398百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,000	6.3	22,000	0.1	15,700	1.5	9,200	22.4	17.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	526,412,232 株	25年3月期	526,412,232 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,775,597 株	25年3月期	3,714,637 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	522,670,346 株	25年3月期2Q	522,742,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は、終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

・決算説明会につきましては、平成25年11月12日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,700	1.1	16,900	△1.8	10,900	4.8	6,800	24.7	13.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. (参考) 四半期個別財務諸表	11
(1) (参考) 四半期個別貸借対照表	11
(2) (参考) 四半期個別損益計算書	13
5. 四半期決算補足説明資料	14
(1) セグメント情報（連結）	14
(2) 金融収支（連結）	14
(3) 借入金及び社債残高（連結）	14
(4) 投資額（連結）	14
(5) 減価償却費（連結）	14
(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の好転による企業収益の改善等に伴い、景気は持ち直しているものの、円安の進行による燃料費や原材料費の高騰に加え、海外経済の減速が懸念されるなど、先行きは依然として予断を許さない状況のまま推移いたしました。

このような経済情勢の下におきまして、当社グループでは3年目に入った中期経営計画「凜進130計画」に掲げる基本方針に従い、引き続き各種施策への取組みを進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、関西国際空港利用客の増加に伴い運輸業において増収となったことや、不動産業において分譲マンション事業が好調に推移したこと等により、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ85億94百万円(9.6%)増加の976億82百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ4億59百万円(3.7%)増加の129億92百万円、経常利益は前第2四半期連結累計期間に比べ5億33百万円(5.8%)増加の97億60百万円、四半期純利益は前第2四半期連結累計期間に比べ8億6百万円(15.2%)増加の61億2百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## &lt;運輸業&gt;

鉄道事業におきましては、関西国際空港における格安航空会社(LCC)ほかの就航便数の増加に伴い、増大する空港関連旅客需要を取り込むため、同空港と関西主要都市とを結ぶ各種企画乗車券の販売等に注力いたしました。また、当社グループのコンビニエンスストア等の利用客を対象に、座席指定料金・特急料金を割引く「ビジネス特急40%OFFキャンペーン」を展開し、特急の利用促進に努めました。軌道事業におきましては、本年8月25日、阪堺線我孫子道停留場・浜寺駅前停留場間において、関西初の低床式車両「堺トラム」の営業運転を開始いたしました。バス事業におきましては、関西国際空港アクセスの向上をはかるため、梅田線において早朝・深夜の運行時間帯を拡大するとともに、深夜時間帯に南海なんば線の運行を開始いたしました。海運業におきましては、就航中の船舶2隻を改修し、ファミリー席、ビジネスコーナーに加え展望デッキを新たに設置するなど、旅客サービスの向上をはかりました。この結果、運輸業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ4億54百万円(1.1%)増加の435億23百万円となりましたが、電力料金値上げや燃料費増加による影響等により、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ80百万円(1.2%)減少の67億36百万円となりました。

## &lt;不動産業&gt;

不動産賃貸業におきましては、パークスタワーをはじめ各物件において、稼働率の維持向上と運営体制の効率化に努めました。不動産販売業におきましては、南海くまとり・つばさが丘、南海林間田園都市・彩の台等で宅地及び戸建住宅の分譲を進めました。また、分譲マンション事業では、帝塚山万代、堺七道、近鉄奈良線河内永和駅前及び近鉄大阪線河内山本駅前において、当社グループの分譲マンションブランド「ヴェリテ」シリーズの開発・販売を推し進めました。この結果、不動産業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ32億4百万円(29.2%)増加の141億81百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ7億43百万円(22.7%)増加の40億22百万円となりました。

## &lt;流通業&gt;

ショッピングセンターの経営におきましては、なんばパークス及びなんばCITYの顧客サービスの一体化による集客力の向上をめざし、本年4月1日、両施設において共通ポイントサービス及び共通駐車場サービスを開始したほか、なんば・心斎橋エリアの商業施設及び商店街が一体となった共同キャンペーン「みんなdeミナミ」を開催し、エリアとしての賑わい創出による当社施設の売上拡大をはかりました。また、南海本線堺駅前のプラトプラットにおいて、大規模リニューアルを実施し、施設の魅力向上と収益力の強化に努めました。駅ビジネス事業におきましては、4月18日、大阪市交通局御堂筋線天王寺駅において駅ナカ商業施設「ekimo天王寺」を開業するとともに、同線なんば駅において「ekimoなんば」の開業準備を進めました。この結果、流通業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ4億20百万円(3.3%)増加の133億30百万円となりましたが、プラトプラットにおけるリニューアル関連費用の計上等により、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ3億53百万円(23.1%)減少の11億75百万円となりました。

<レジャー・サービス業>

遊園事業におきましては、みさき公園において、動物とのふれあいを中心とした体験型イベントに注力したほか、夜の動物園めぐりと天体観測等を組み合わせた「Night Zoo」を開催するなど、ファミリー層を中心にお客さまの誘致に努めました。旅行業におきましては、テーマ性の高い旅行（SIT）分野の強化をはかるため、本年6月1日、エコツアーやボランティアツアー等の企画・運営を行う株式会社日本エコプランニングサービスの全株式を株式会社南海国際旅行において取得いたしました。その他といたしましては、シニアビジネスへの本格的参入の一環として、7月1日、有料老人ホーム「南海ライフレレーションあびこ道」を開業いたしました。この結果、レジャー・サービス業の営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億36百万円（0.8%）増加の165億9百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億86百万円（40.1%）増加の6億52百万円となりました。

<建設業>

建設業におきましては、厳しい事業環境の下、かねてより鉄道関連工事分野に続く事業分野の受注活動にも精力的に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間には受注工事高及び完成工事高がともに増加し、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ18億39百万円（9.9%）増加の204億2百万円となりました。しかしながら、労務単価の上昇や建設資材価格の高止まりもあり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べ1億94百万円（36.1%）減少の3億45百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、営業収益は前第2四半期連結累計期間に比べ9百万円（1.9%）増加の5億17百万円となりましたが、営業損失は前第2四半期連結累計期間に比べ6百万円増加の23百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、連続立体交差化工事の進捗による建設仮勘定の増加があったものの、短期資金運用を目的とした譲渡性預金の減少や減価償却の進捗等により、前連結会計年度末に比べ46億6百万円減少の7,769億83百万円となりました。

負債の部では、社債の償還等により、前連結会計年度末に比べ92億95百万円減少の6,291億17百万円となりました。

純資産の部では、剰余金の配当による減少があったものの、四半期純利益の計上や保有株式の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ46億89百万円増加の1,478億65百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で0.7ポイント上昇し、18.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権や法人税等の支払額の増加等により、前第2四半期連結累計期間に比べ106億52百万円流入が減少し、82億50百万円の流入となりました。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の減少があったものの、敷金及び保証金の回収が減少したこと等により、前第2四半期連結累計期間に比べ6億99百万円支出が増加し、53億67百万円の流出となりました。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出の減少等により、前第2四半期連結累計期間に比べ32億89百万円支出が減少し、112億49百万円の流出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ83億66百万円減少し、185億89百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、海外景気の減速や消費増税による下振れリスクは存在するものの、輸出環境の好転や各種政策の効果が発現する中で、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。

当社グループにおきましては、梅田・天王寺地区とのエリア間競争の激化に加え、電力需給問題の長期化とこれに伴う電力料金値上げ等の影響もあり、厳しい経営環境が続くものと予想されますが、関西国際空港利用者の増加に伴い空港線の利用が増加しているほか、分譲マンションの販売が好調に推移しております。

このような状況の下、通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ前回発表時(平成25年4月30日)の予想数値を変更いたしました。

営業収益は、前回予想より3億円(0.2%)の増収、営業利益については6億円(2.8%)、経常利益については9億円(6.1%)、当期純利益については7億円(8.2%)の増益を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 平成26年3月期の連結業績予想数値の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	195,700	21,400	14,800	8,500
今回発表予想 (B)	196,000	22,000	15,700	9,200
増減額 (B-A)	300	600	900	700
増減率 (%)	0.2	2.8	6.1	8.2
(ご参考) 前期実績(平成25年3月期)	184,412	21,973	15,474	7,518

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,705	19,289
受取手形及び売掛金	17,560	20,052
商品及び製品	27,177	27,477
仕掛品	850	881
原材料及び貯蔵品	2,144	2,201
その他	20,828	9,996
貸倒引当金	△95	△105
流動資産合計	87,171	79,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	325,360	323,654
土地	293,914	293,763
建設仮勘定	25,051	28,413
その他(純額)	20,082	19,539
有形固定資産合計	664,409	665,370
無形固定資産	2,648	2,543
投資その他の資産		
投資有価証券	20,857	22,765
その他	8,915	8,908
貸倒引当金	△2,412	△2,399
投資その他の資産合計	27,360	29,275
固定資産合計	694,418	697,189
資産合計	781,589	776,983



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,848	16,637
短期借入金	114,169	122,550
1年以内償還社債	10,000	15,000
未払法人税等	3,365	2,630
賞与引当金	2,066	2,432
その他	45,184	47,737
流動負債合計	194,634	206,987
固定負債		
社債	85,000	70,000
長期借入金	260,530	253,624
退職給付引当金	13,390	13,461
建替関連損失引当金	1,081	1,081
その他	83,777	83,963
固定負債合計	443,779	422,130
負債合計	638,413	629,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,471	18,471
利益剰余金	27,313	30,472
自己株式	△1,325	△1,349
株主資本合計	108,197	111,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,967	5,135
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	28,234	28,564
その他の包括利益累計額合計	32,200	33,700
少数株主持分	2,777	2,831
純資産合計	143,176	147,865
負債純資産合計	781,589	776,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	89,087	97,682
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	73,703	81,530
販売費及び一般管理費	2,851	3,159
営業費合計	76,555	84,689
営業利益	12,532	12,992
営業外収益		
受取利息	26	13
受取配当金	283	279
負ののれん償却額	111	—
雑収入	328	274
営業外収益合計	749	567
営業外費用		
支払利息	3,829	3,541
雑支出	225	257
営業外費用合計	4,055	3,799
経常利益	9,226	9,760
特別利益		
工事負担金等受入額	13,085	530
その他	344	24
特別利益合計	13,429	554
特別損失		
工事負担金等圧縮額	13,014	513
固定資産除却損	—	137
その他	1,939	3
特別損失合計	14,953	654
税金等調整前四半期純利益	7,702	9,660
法人税、住民税及び事業税	1,528	2,711
法人税等調整額	804	822
法人税等合計	2,332	3,533
少数株主損益調整前四半期純利益	5,370	6,126
少数株主利益	74	24
四半期純利益	5,296	6,102

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,370	6,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,370	1,200
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益合計	△1,370	1,201
四半期包括利益	4,000	7,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,965	7,272
少数株主に係る四半期包括利益	34	56

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,702	9,660
減価償却費	10,119	10,132
工事負担金等圧縮額	13,014	513
支払利息	3,829	3,541
工事負担金等受入額	△13,085	△530
売上債権の増減額 (△は増加)	3,897	△1,697
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,033	△5,303
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,059	△388
その他	1,452	△1,084
小計	22,958	14,843
利息及び配当金の受取額	314	295
利息の支払額	△3,900	△3,607
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△468	△3,280
その他	△1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,903	8,250
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△13,979	△11,390
工事負担金等受入による収入	5,931	5,893
敷金及び保証金の回収による収入	3,077	—
その他	302	129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,667	△5,367
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△910	8,876
長期借入れによる収入	25,110	12,064
長期借入金の返済による支出	△25,965	△19,464
社債の発行による収入	9,939	—
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
配当金の支払額	△2,602	△2,604
その他	△110	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,539	△11,249
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△303	△8,366
現金及び現金同等物の期首残高	18,935	26,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,632	18,589

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	42,408	10,552	12,720	11,899	11,379	126	89,087
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	660	424	188	4,473	7,183	380	13,311
計	43,068	10,976	12,909	16,373	18,563	507	102,399
セグメント利益又は損失(△)	6,816	3,279	1,529	465	540	△16	12,614

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,614
セグメント間取引消去	△81
四半期連結損益計算書の営業利益	12,532

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計
営業収益							
(1)外部顧客への営業収益	42,896	13,763	13,122	12,115	15,714	70	97,682
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	627	417	208	4,394	4,688	446	10,782
計	43,523	14,181	13,330	16,509	20,402	517	108,464
セグメント利益又は損失(△)	6,736	4,022	1,175	652	345	△23	12,909

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,909
セグメント間取引消去	82
四半期連結損益計算書の営業利益	12,992

## 4. (参考) 四半期個別財務諸表

## (1) (参考) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成25年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	59,231	52,082
現金及び預金	8,187	9,753
販売土地及び建物	24,874	24,766
その他	26,934	18,793
貸倒引当金	△765	△1,230
固定資産	680,835	678,849
鉄道事業固定資産	292,989	289,942
付帯事業固定資産	299,783	300,194
各事業関連固定資産	7,152	7,071
建設仮勘定	24,121	26,478
投資その他の資産	56,788	55,162
関係会社株式	30,553	30,553
関係会社長期貸付金	12,868	9,667
その他	15,967	17,121
投資評価引当金	△140	△140
貸倒引当金	△2,460	△2,039
資産合計	740,066	730,931

(単位：百万円)

科 目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成25年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	179,051	187,882
短期借入金	103,553	110,582
1年以内償還社債	10,000	15,000
賞与引当金	921	1,113
その他	64,576	61,186
固定負債	429,903	408,910
社債	85,000	70,000
長期借入金	256,117	250,302
退職給付引当金	8,545	8,600
その他	80,240	80,007
負債合計	608,954	596,793
(純資産の部)		
株主資本	101,506	103,427
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,478	18,478
利益剰余金	20,614	22,559
自己株式	△1,325	△1,349
評価・換算差額等	29,605	30,710
その他有価証券評価差額金	2,213	2,988
土地再評価差額金	27,391	27,722
純資産合計	131,111	134,138
負債純資産合計	740,066	730,931

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期個別損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
鉄道事業営業利益		
営業収益	27,870	28,047
営業費	22,156	22,701
営業利益	5,713	5,346
付帯事業営業利益		
営業収益	16,285	17,484
営業費	11,556	12,774
営業利益	4,729	4,710
全事業営業利益	10,443	10,056
営業外収益	986	1,014
受取利息	149	150
受取配当金	643	746
雑収入	194	117
営業外費用	3,949	3,614
支払利息	3,139	2,925
社債利息	606	542
雑支出	203	145
経常利益	7,479	7,456
特別利益	13,011	215
工事負担金等受入額	13,011	215
特別損失	14,657	350
工事負担金等圧縮額	12,940	212
その他	1,716	137
税引前四半期純利益	5,834	7,322
法人税、住民税及び事業税	526	1,661
法人税等調整額	917	772
四半期純利益	4,389	4,888

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。



平成25年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

5. 四半期決算補足説明資料

(1) セグメント情報 (連結)

(実績)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	24年9月期 (実績)	25年9月期 (実績)	増減率	24年9月期 (実績)	25年9月期 (実績)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	43,068	43,523	1.1	6,816	6,736	△1.2
不 動 産 業	10,976	14,181	29.2	3,279	4,022	22.7
流 通 業	12,909	13,330	3.3	1,529	1,175	△23.1
レジャー・サービス業	16,373	16,509	0.8	465	652	40.1
建 設 業	18,563	20,402	9.9	540	345	△36.1
そ の 他 の 事 業	507	517	1.9	△16	△23	—
計	102,399	108,464	5.9	12,614	12,909	2.3
調 整 額	△13,311	△10,782	—	△81	82	—
四半期連結損益計算書計上額	89,087	97,682	9.6	12,532	12,992	3.7

(予想)

	営業収益			セグメント利益(営業利益)		
	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	増減率	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運 輸 業	86,097	86,800	0.8	11,896	11,400	△4.2
不 動 産 業	25,023	26,700	6.7	5,715	6,400	12.0
流 通 業	25,978	27,200	4.7	2,795	2,300	△17.7
レジャー・サービス業	33,940	34,500	1.6	962	1,400	45.5
建 設 業	39,280	43,000	9.5	875	700	△20.0
そ の 他 の 事 業	1,801	1,500	△16.8	131	100	△23.7
計	212,122	219,700	3.6	22,375	22,300	△0.3
調 整 額	△27,710	△23,700	—	△401	△300	—
連結損益計算書計上額	184,412	196,000	6.3	21,973	22,000	0.1

(2) 金融収支 (連結)

(単位:百万円)

	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	比較増減	25年9月期 (実績)
受取利息及び配当金	513	500	△13	292
支払利息	7,489	6,900	△589	3,541
金融収支	△6,976	△6,400	576	△3,248

(3) 借入金及び社債残高 (連結)

(単位:百万円)

	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	比較増減	25年9月期 (実績)
借入金及び社債残高	469,699	457,400	△12,299	461,175

(4) 投資額 (連結)

(単位:百万円)

	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	比較増減	25年9月期 (実績)
投資額	21,690	25,500	3,809	7,243

(5) 減価償却費 (連結)

(単位:百万円)

	25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	比較増減	25年9月期 (実績)
減価償却費	20,428	20,600	171	10,132

平成25年10月31日  
南海電気鉄道株式会社

(6) 鉄道旅客収入及び輸送人員表 (個別)

(実績)

		24年9月期 (実績)	25年9月期 (実績)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 15,110 (1,958)	百万円 15,367 (2,153)	% 1.7 (10.0)
	定期	11,428 (562)	11,376 (572)	△0.5 (1.8)
	合計	26,538 (2,520)	26,743 (2,725)	0.8 (8.1)
輸送人員	定期外	千人 43,569 (2,364)	千人 43,949 (2,683)	% 0.9 (13.5)
	定期	70,992 (1,771)	71,070 (1,821)	0.1 (2.8)
	合計	114,561 (4,135)	115,019 (4,504)	0.4 (8.9)

- 注 1. 輸送人員は千人未満を四捨五入で表示しております。  
2. 旅客収入は荷物収入を除いております。  
3. ( ) 内は、空港線の数値を内数で表示しております。

(予想)

		25年3月期 (実績)	26年3月期 (予想)	比較増減率
旅客収入	定期外	百万円 30,114 (4,000)	百万円 30,659 (4,420)	% 1.8 (10.5)
	定期	22,398 (1,116)	22,441 (1,139)	0.2 (2.0)
	合計	52,513 (5,116)	53,101 (5,559)	1.1 (8.6)
輸送人員	定期外	千人 87,182 (4,877)	千人 88,132 (5,549)	% 1.1 (13.8)
	定期	137,947 (3,525)	138,726 (3,611)	0.6 (2.4)
	合計	225,129 (8,402)	226,858 (9,160)	0.8 (9.0)

- 注 1. 輸送人員は千人未満を四捨五入で表示しております。  
2. 旅客収入は荷物収入を除いております。  
3. ( ) 内は、空港線の数値を内数で表示しております。